

横浜南部市場にぎわい創出事業の公募について 優先交渉権者を決定しました

平成 28 年 7 月から実施していた横浜南部市場にぎわい創出事業の公募については、平成 29 年 1 月に提案書の受け付けを行い、4 グループの応募がありました。

外部有識者で構成する横浜南部市場にぎわい創出事業者選定委員会において提案内容の審査を行い、同委員会からの答申を踏まえ、本日、「大和リース株式会社 横浜支店」を優先交渉権者として決定しましたので、お知らせします。

今後は、基本協定及び定期借地契約の締結等の手続きを行い、事業化を進めます。

1 募集概要

所在地	金沢区鳥浜町1-1（金沢シーサイドライン南部市場駅 徒歩1分）
事業用地	賑わいエリア全体 47,195.54 m ² のうち 34,719.81 m ² 、工業地域（建ぺい率 60%、容積率 200%）
事業コンセプト	食の拠点としてのイメージを活かす、市場ならではの食を堪能できる、南部市場の魅力を発信する

2 優先交渉権者

大和リース株式会社 横浜支店（横浜市西区みなとみらい三丁目 6 番 1 号）

（次点：大和ハウス工業株式会社 横浜支社・大和情報サービス株式会社の応募者グループ）

3 優先交渉権者の提案概要（別添資料もあわせてご覧ください）

（1）施設概要（提案時のものであり、今後変更となる可能性があります。）

主な用途：物販店舗・飲食店・サービス店舗

延べ床面積等：22,077.22 m²、高さ 12.50m（地上 3 階）、駐車台数 775 台

（2）コンセプト

食のライブマーケット ～地域と人が食でつながる交流拠点～

その地域・季節ならではの食の魅力を発信・体験・発信・地域や観光客など様々な人に開かれた食のにぎわい創出

発見 <いつも新鮮な発見がある店舗群>

- ・地場魚や横浜野菜を扱う産直のこだわり店や、全国各地の豊富な食材を集めた**食の専門店群**
- ・商品の魅力や活気が滲み出し、試食や量り売り、店主との会話など**市場のライブ感を演出**
- ・周辺食品工場と連携した、地域ならではの商品が手頃な価格で購入できる**食のアウトレット**

体験 <五感で食を体験できるコンテンツ>

- ・購入した食材をその場で食べることができる、**生き活きとした食を楽しむ**市場ならではのコンテンツ提供
- ・季節を感じられるイベントの定期開催や、**野外シネマ**などの味覚だけでなく視覚的にも食を感じる仕掛け
- ・海辺広場に面して、**開放的に食を楽しむ**ことのできる交流スペースやオープンカフェ

発信 <地域の食と食文化の発信>

・**エリアの食の魅力を国内外に PR**

和食アカデミーでの食文化体験、市場事業者との連携による食育教室や競り体験、地域の起業希望者が出店できるチャレンジショップ、観光バス・シーサイドラインと協力した周辺観光資源を生かしたツアー 等

（3）今後の予定

平成 29 年 契約締結・設計、平成 30 年 建築工事着工、平成 31 年 竣工・開業

※ 公募の結果に関する詳細は、横浜南部市場ホームページをご参照ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shogyo/orosi/nigiwai/koubo.html>

お問合せ先

経済局南部市場活用課長 森山 浩信 Tel 045-779-2001



駐車場側から市場通りを見る



海辺広場側から木漏れ日通りを見る



海辺広場を俯瞰する



関連棟側からマーケット広場を見る



提案概要書

食のライブマーケット ～地域と人が食でつながる交流拠点～



その地域・その季節ならではの食の魅力が発見・体験・発信できるとともに、いつでも何かが行われている市場のライブ感が人々を誘い、にぎわいを生み出します。市民にとっては日々の食卓が豊かになり自慢できる場所に、観光客にとっては地域や全国の食を求め訪れたい場所になることで、地域と人が食を中心につながっていく交流拠点を創造します。

南部市場の持つポテンシャルを活かします

【背景】 近年、生産者の顔が見える食材や、産地にこだわる飲食店が注目を集めるなど、食への関心が高まっています。そのような状況の中、本事業は南部市場の基本方針に基づき、「食」を中心としたにぎわいの創出事業となります。

【事業用地周辺】 食材の生産地と、消費地である観光地・住宅地が集積しており、旬の食材を届けることができます。

【事業用地】 流通機能と商業機能が共存することで、1日を通して食のアクティビティが生まれる場所になります。

新しい流通の関係性をつくります

【双方向の関係性】 物流機能と商業機能が共存する南部市場の特徴を活かし、今まで一方通行だった生産から消費への流れを双方向の関係性とし、多様な食の流れとコンテンツを生み出します。

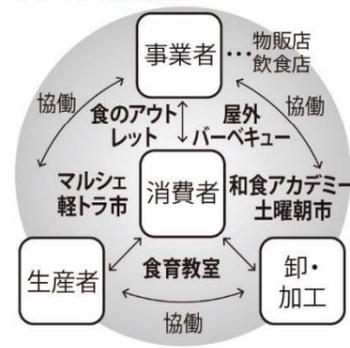
【関係者の協働】 横浜南部市場連絡協議会に関わる主体と生産者を集め「ファインフードミーティング」を開催します。定期的に関係者間で意見交換を行い、必要な商品・サービスを現場に反映させます。運営側の連携を強化し、時代や利用ニーズの変化に対応するサービスの提供を図ります。

南部市場の記憶を継承しつつ、その時折における食のライブ感を味わえる市場ならではの場所を創出し、地域や観光客など様々な人に開かれた「食」の賑わい創出に取り組みます

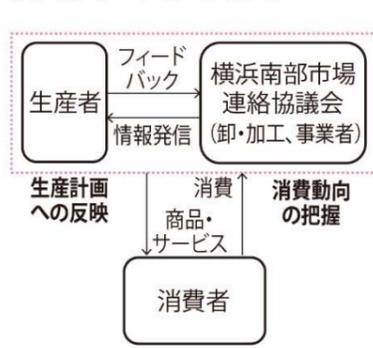
南部市場のポテンシャル



フラットな関係性



ファインフードミーティング



発見:いつも新鮮な発見がある店舗群

季節の食材や食のプロとの交流が、購買意欲を誘います

新鮮な食材に出会える「食の専門店群」

小柴漁港の穴子や地場魚を仕入れる鮮魚店、三浦野菜や横浜野菜を扱う店など、産直のこだわり店を集めます。試食や店主との会話を通して買い物を楽しむことができます。また、大型食料品店舗は、物流エリア事業者から商品を仕入れるほか、全国各地の豊富な食材を提供します。

市場のライブ感を演出する「市場通り・木漏れ日通り」

商品の魅力や活気が滲み出す市場らしい通りを設け、試食や量り売り、店主との会話などを通して買い物を楽しむことができます。

本物の食をお手頃にする「食のアウトレット」

周辺食品工場との連携を検討している見切品のアウトレットでは、地域ならではの商品が手頃な価格で購入でき、贅沢感を味わうことができます。

体験:五感で食を体験できるコンテンツ

市場ならではの食にワクワクできる場を提供します

生き生きとした食を楽しむ「バーベキュー・のっけ丼」

本施設に出店する店舗や物流エリア・関連棟で購入した食材を、その場で食べることができるなど、市場ならではのコンテンツを提供します。

旬の食材が手に入る産地直送「マルシェ・軽トラ市」

季節を感じられるイベントを定期的に行うとともに、土曜朝市との連携を図ることでエリア全体のにぎわい創出を図ります。

五感で食を感じる「野外シネマ」

管理棟で行われていた「市場 de シネマ」を屋外で上映するなど、味覚だけでなく視覚的にも食を感じる仕掛けを演出します。

開放的に食を楽しむ「海辺広場・オープンカフェ」

海辺広場に面して、食材を調理することができる交流スペースやオーガニックレストラン、オープンカフェを設け、開放的な雰囲気の中で食を楽しむことができる環境を創ります。

発信:地域の食と食文化の発信

エリアの食の魅力国内外にPRします

消費者自らアクションを起こしたくなるような話題性のあるイベントや地域と連携したワークショップを実施します。情報発信については、地域情報誌やWEB・SNSを活用します。また、周辺観光施設との連携を行い、南部市場全体の価値向上を図ります。

和食アカデミー	講師に物流エリア事業者、食材に関連棟などの商品を活用した食文化体験を企画
ワンデイシェフ	期間限定のシェフが料理を提供し、世代間交流や地域の居場所づくりを創出
食育教室	物流エリア事業者が周辺の学校で行う食育教室を交流スペースで実施
競り体験	流通の仕組みを知るきっかけとなるイベントを物流エリア事業者と連携し実施
バスツアー・収穫体験	観光バス会社・シーサイドラインと協力し、周辺の観光資源を生かしたツアーを実施
チャレンジショップ	マーケット広場や関連棟空き区画に地域の起業希望者が気軽に店出できる場所を設置
地域情報誌	地域の魅力発信を得意とする出版社などと連携し地域情報誌によるPR活動
周辺エリアマップ作成	周辺大学が作成する冊子を発展させ、周辺エリアの魅力伝えるマップを作成
SNS活用	SNSと連動したコミュニティ型デジタルサイネージを導入し魅力ある情報を拡散

発見・体験・発信が循環することで、様々な人々の流れを呼び込み、事業用地のみならず南部市場全体の価値向上を持続的に図ります。

